



BIWAKO Hallowed ground
びわ湖百八霊場

JR湖西線⇒琵琶湖線⇒京都線		
	新快速	
JR堅田駅 発	14時39分	14時52分
	↓	↓
乗換 JR山科駅 着	14時53分	15時14分
		新快速
		15時23分
	↓	↓
京都駅 着	14時58分	15時28分
	↓	↓
大阪駅 着	15時28分	15時58分

観歩・感歩・歓歩。自然に親しみ楽しく歩く仲間。
大阪・オレンジクラブ 一歩会

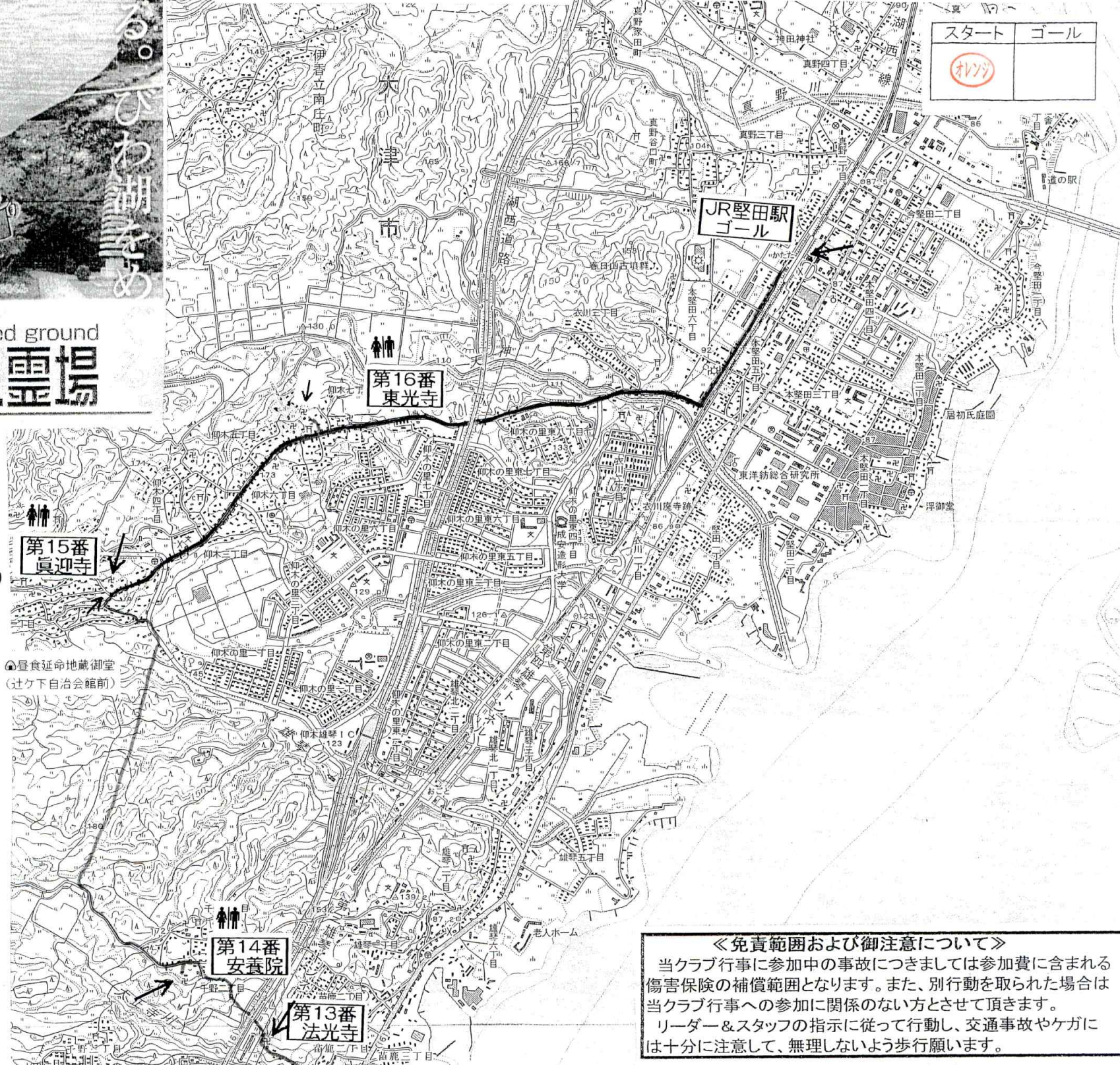
事務所 〒536-0023 大阪市城東区東中浜9-7-3
Tel.&Fax. 06-6961-8095 大阪

ホームページ <http://ameblo.jp/osakaorange2007/> オレンジクラブ 一歩会

参加者氏名

スタート ゴール

○



- 第12番 紫雲山 聖衆来迎寺**
宗派 天台宗
本尊 阿弥陀如来
釈迦如来
薬師如来
開山 伝教大師最澄(地藏教院)
恵心僧都源信(聖衆来迎寺)
- 第13番 光明山 法光寺**
宗派 天台宗
本尊 阿弥陀如来
釈迦如来
薬師如来
開山 伝教大師最澄
- 第14番 月岳山 安養院**
宗派 天台宗
本尊 妙見大菩薩
開山 慈恵大師良源(元三大師)
- 第15番 光明山 眞迎寺**
宗派 天台宗
本尊 阿弥陀如来
開基 恵心僧都源信
- 第16番 霊雲山 東光寺**
宗派 天台宗
本尊 阿弥陀如来
開山 真玄上人

《免責範囲および御注意について》
当クラブ行事に参加中の事故につきましては参加費に含まれる傷害保険の補償範囲となります。また、別行動を取られた場合は当クラブ行事への参加に関係のない方とさせていただきます。
リーダー&スタッフの指示に従って行動し、交通事故やケガには十分に注意して、無理しないよう歩行願います。

- 《ウォーキングマナー五ヶ条》
- ① ヤァ!お早う。明るく、元気なあいさつ、さわやかに。
 - ② 歩行者信号で、あわてず、あせらず、待つ余裕。
 - ③ 道いっぱい広がるな、ウォーカーだけの道じゃない。
 - ④ 自分のゴミ、自分の責任で持ち帰り、来た時よりも美しく。
 - ⑤ 歩かせて頂く、土地や地域に感謝して。

今回以降の例会の御案内

○ 11月27(土) 高野山の麓に天空の里を訪ねて 15km 《集合》JR・妙寺駅 10時00分 《解散》JR・妙寺駅
○ 12月6日(月) 語りベシシリーズ《紅葉の島原と清盛の夢》8km 《集合》JR・神戸駅 10時00分 《解散》JR・神戸駅
○ 12月12日(日) 奈良盆地を東西に走る最古の国道《横大路》を歩く 13km 《集合》近鉄・磐城駅 9時30分 《解散》近鉄・桜井駅
○ 12月18日(土) 大阪ええとこ、歩きませんか!《大正区一周旧跡めぐり》12km 《集合》JR・大正駅 9時30分 《解散》JR・大正駅

緊急連絡先 リーダー
090-7097-0259

大阪 オレンジクラブ一歩会

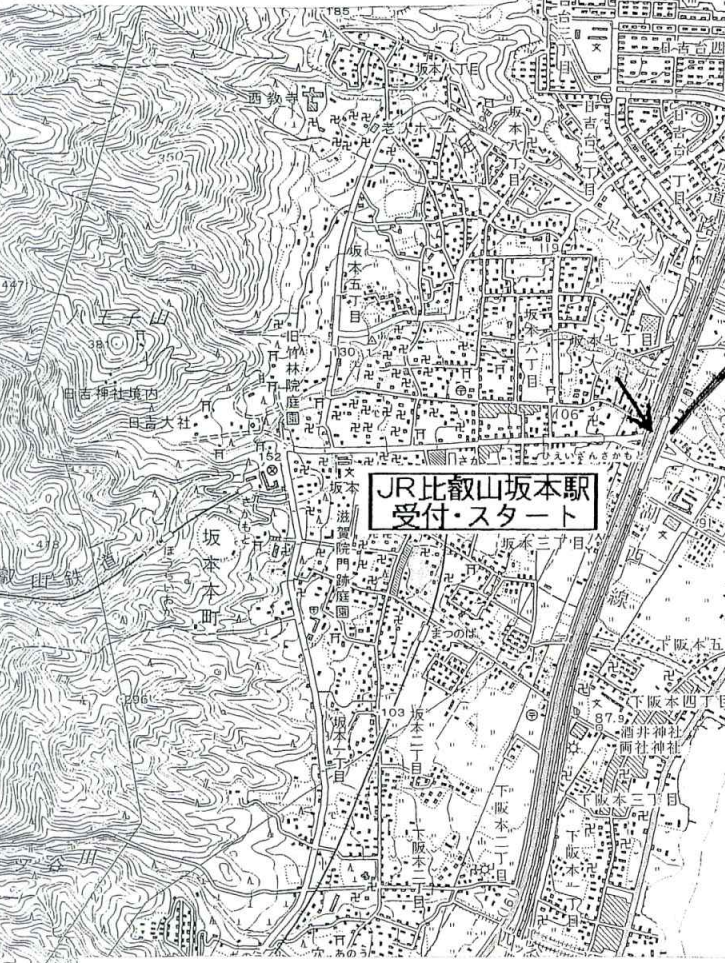
びわ湖108霊場

湖西・天台宗 5ヶ寺を巡る

令和3年11月14日(日)

《集合》 10:00 《解散》 15:00(予定) 《歩行距離:IVV》12km

コース: JR比叡山坂本駅(受付・スタート) ⇒ 第12番聖衆来迎寺 ⇒ 第13番法光寺 ⇒ 第14番安養院 ⇒ 第15番眞迎寺 ⇒ 第16番東光寺 ⇒ JR堅田駅(ゴール)



1:25,000

500m 0 500 1000 1500

令和3年(2021年)11月14日(日)大阪・オレンジクラブ一歩会
～ びわ湖108霊場 天台宗5ヶ寺を巡る ～

【コース】

JR湖西線・比叡山坂本駅～(受付・スタート)～ 12番・聖衆来迎寺～13番・法光寺～
14番・安養院～15番・眞迎寺～16番・東光寺～

JR湖西線・堅田駅(ゴール・解散)約12km(歩数約25,000歩)参加者約50名

【参考】びわ湖百八霊場の内の天台宗5ヶ寺

第12番 紫雲山 聖衆来迎寺(しょうじゅらいこうじ)

本尊：阿弥陀如来、釈迦如来、薬師如来の三仏、開山：最澄

第13番 光明山 法光寺(ほうこうじ)

本尊：阿弥陀如来、釈迦如来、薬師如来の三仏、開山：最澄

第14番 月岳山 安養院(あんよういん)

開創は955年(天曆9年)、開山：元三慈恵大師

第15番 光明山 眞迎寺(しんこうじ)

開創は993年(正暦4年)、開山：恵心僧都、本尊：阿弥陀如来

第16番 霊雲山 東光寺(とうこうじ)

本尊：阿弥陀如来、開山：真玄

太陽の子・元三大師

本堂の真後ろに祀られる月子姫の霊は、安産の「神」となりました。いえ、月子姫は元々神でした。元三大師の父を時の帝とする説もありますが、もう一つ根強く伝わる伝承に、夢に、海中に座り、天を仰ぐと、日光が懐に入ってきたという話があります。その奇瑞をもって、月子姫は元三大師を懐妊したのです。

月子姫は、大師の母であると同時に、私たちの母でもあります。大いなる母、大地母神なのです。

七夕は月子姫のご命日

安養院では、毎年七月六日、「夏祭り」と称して月子姫を厚く吊います。安養院の縁起では、月子姫のご命日は、七月七日とあります。その前日、七月六日を「お逮夜」と言います。霊の力が最も強い日です。この日、横川の元三大師堂から、執事が「元三大師」の絵像を持って安養院に参ります。まるで、大師が生きているかのように、子は、母のお墓参りをするのです。この法要は大師が亡くなってからも、ずっと欠かすことなく続いています。何と一千年以上も続いているのです。



元三大師堂よりもたらされた「元三大師画像」(軸装)。法要の折、本尊の坐す御厨子の傍らに掛けられる。中央に元三大師、二人の弟子を従える。右は尋禅(慈忍和尚)、左は恵心僧都源信。



本堂での読経が終わると、本堂の真後ろに坐す月子姫(のお墓)に向かって読経する。この法要は、雨が降ろうと台風が来ようと、日を替えず必ず執行される。



夏祭り(御母公報恩回向法要)。



表紙絵は天女形の妙見菩薩。頭上は北斗七星

天台宗

月岳山 安養院 妙見堂

母の寺・安養院

叡山の高僧の母・月子姫は、七夕の日、天上へと去った。

子は母を恋い、今も母の供養を続けている。

天台宗

月岳山 安養院 妙見堂

〒520-0111 滋賀県大津市千野2丁目7-12

TEL(FAX) 077-578-1411

交通

- JR湖西線おごと温泉駅下車徒歩25分。● タクシー おごと温泉駅より5分。
- 車 名神・京都東インターから、湖西バイパスおごと温泉ランプを出て5分。

安養院は母の寺

安養院の境内に立つと、心がやすらいで来ます。それは、ここが、母の胎内だからです。ここを訪れると私たちは、遠い昔、生まれる前、何の不安も悩みもなかった、その頃に戻れるのです。



母の名は月子姫

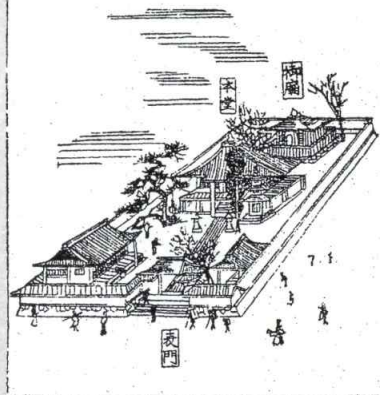
安養院は、比叡山の高僧・元三慈恵大師良源（九一二〜九八五）の母・月子姫のお墓を守るお寺です。ご本尊は月子姫の戒名である妙見菩薩と月子姫が一体となったお姿です。星の中でも最も威力ある北斗七星が化現した仏が妙見菩薩で、そのお顔は月子姫、その人なのです。



江西州乳野妙見堂

「妙見菩薩護符」。「乳野」の文字がこの木版の古さを語っている。護符だが、何より安産の御守りとして大切に授けられた。

安養院畧図



江戸時代の安養院。現在とほぼ変わらない。木版刷り。

元三大師は観音さま

元三大師は比叡山中興の祖で、第十八代天台座主になった尊いお方です。しかし庶民を救うためにしばしば里に降りて来たのでしよう。その証となる「護符」が今も残っています。「豆大師」と言います。小さなちいさな元三大師、三十三人を九段に重ねて描いています。これは元三大師が実はその御正体、観音さまであったということから来ています。観音さまは三十三身に變化して衆生を救いました。その信仰を具体的に表わしたものが「豆大師」なのです。母・月子姫もまた観音に帰依していました。

元三大師は悪魔？

もう一つ有名な護符があります。「角大師」という魔除け・厄除けの護符です。これは疫病神が大師に憑こうとした時、大師が悪魔の姿と化して疫病神を退治したという話から来ています。

元三大師はおみくじの発明者

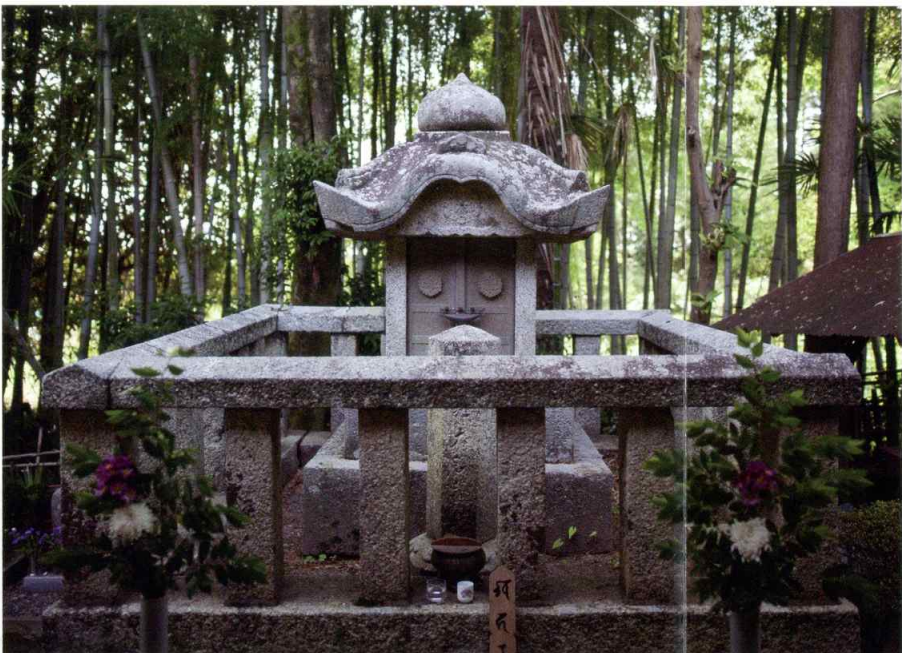
日本人は古い好きと言われますが、おみくじの発明者は元三大師と言われています。仏教という何かおむつかしく感じますが、元三大師の仏教は、迷信も呪術も採り入れた民間信仰から出発しています。



角大師。蘆山寺（京都市上京区）で配布されたもの。谷崎潤一郎は、『乳野物語』の中で、この角大師を挿絵として用いた。

『乳野物語』

文豪・谷崎潤一郎に『乳野物語』という名作があります。「乳野」と言うのは、安養院のある千野の里の名を古くは、元三大師と母との関係をもって、「乳野」と書いていたことに由来します。谷崎はよほど千野の里、そして元三大師の母に興味を持ったのでしよう。『乳野物語』を書くに当たって、雄琴温泉に長逗留して、取材を重ねてこの小説を書きました。その時、谷崎は、「小説の結末」とは裏腹に、ここに、母の存在を確信しました。

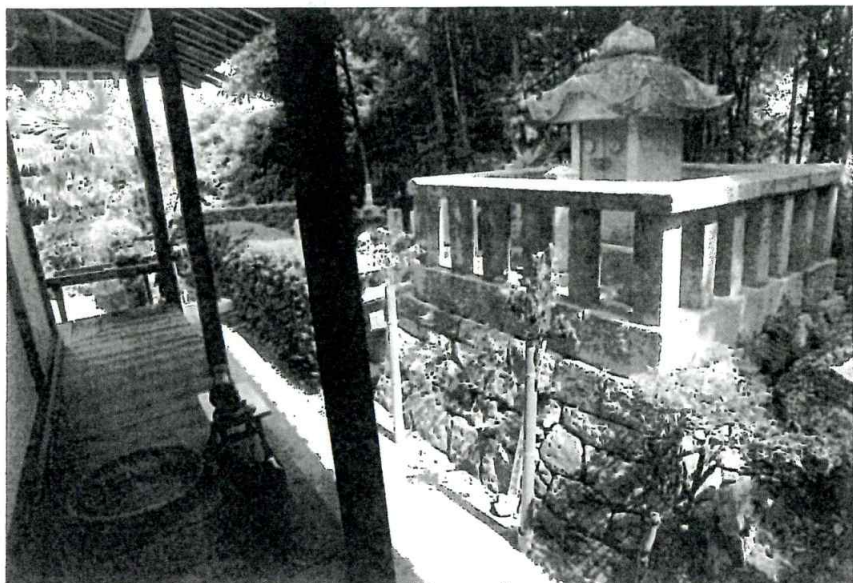


月子姫の廟所。本堂の真後ろにある。この「母の墓」の前に立ち、手を合わせれば「何か」を感じる。大地母神……月子姫が甦る。安養院は子を想う「母の寺」。

安養院

あんよういん

◎9時～16時半
◎2/3/7/6/8/12/8/18
◎無料(朱印代300円)
◎あり ◎あり
◎なし ◎なし



元三大師親子の情愛

天台宗／妙見大菩薩

北極星を妙見菩薩として祀るここ安養院は「妙見さん」と呼ばれ親しまれている。本尊は妙見大菩薩(月子姫)。月子姫と天台中興の祖と仰がれる比叡山天台座主・元三慈恵大師(良源)親子の情愛の深さは伝説にまで昇華した。

月子姫は滋賀県の湖北に生まれ、玉のように顔も麗しく、湖上に浮かぶ竹生島で醍醐天皇に見初められ宮中入りして寵愛を受けたと伝えられる。その後、木津氏(現在の滋賀県長浜市)に嫁ぎ、息子を産む。彼は母の勧めで比叡山に上り良源と名付けられ頭角を現す。

良源は四十歳で母を比叡山の麓に呼び寄せ、千野に家を構える。母七十歳。九五(天曆九)年、これが安養院の前身となる。良源は母に会いに比叡山から足繁く千野に通う。良源が天台座主に指名さ

れた一カ月後、母は八十一歳で大往生を遂げ、この寺に葬られた。

元三大師と母の親子愛に心打たれた谷崎潤一郎は、御廟を参拝し、小説「乳野物語」(原題「元三大師の母」)を発表する。

山里の風情を残す集落の辻を曲がった細い路地の奥に、安養院の屋根がのぞく。山門からお堂、そして御廟のある境内は、さながら小宇宙。清浄で完結した世界だ。安産やわが子の学業を祈願するため、安養院に参拝する母親は今も絶えない。

Access

●湖西道路「仰木雄琴IC」より、所要5分。雄琴IC口を右折。「JRおごと温泉駅」を越え右折し南下。千野地区へ

●JR湖西線「おごと温泉駅」より、タクシーで5分。徒歩の場合は20分